

呉市医師会看護専門学校医療高等課程准看護科の 休校について(お知らせ)

本校は、昭和29年に呉市医師会准看護婦養成所として創立されて以降、半世紀以上の永きにわたり、呉の地域医療に貢献するため准看護科と看護学科の2課程を運営し、4000名を超える准看護師、そして1200名を超える看護師を育ててきました。

しかしながら、近年では高校新卒者は大学進学を目指す傾向にあるため、看護師養成所にとっては、学生数の確保が難しい状況が続き、受験者・入学者の減少が著しく、とくに准看護科の経営は厳しさを増しています。

また、看護教員に関しても慢性的な人員・人材不足が続き、本校の掲げる教育理念「心と技術、両方を兼ね備えた看護師・准看護師の教育」を、十分に指導できない状況となっています。

こうした状況下ではありますが、医療資源の育成と地域への供給を担う本校は、今後においても呉圏域における医療体制確保という点で重要な役割を果たすものと考え、存続の方法について検討を重ねた結果、両課程に各々配置している職員をいづれかに集約することといたしました。

その上で、どちらの課程を継続するかを総合的に判断し、苦渋の選択ではございますが、**看護学科へ職員を集約して継続、准看護科は再来年 令和6年度の新入生募集を中止、来年度の新入生が卒業する令和6年度末(令和7年3月)をもって当面休校**することとしました。

在校生やこれから入学する学生が安心して学業に励めるよう、引き続き全力でサポートをしていく所存ですので、皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

呉市医師会看護専門学校
校長 玉木正治